

平成29年度当初予算案の特色

I 政策の推進

『FUKUOKA NEXT』の着実な推進

～成長の果実をすみずみまで～

- 元気で住みやすいまちに磨きをかけ、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環の実感を、都心部から農山漁村地域まで、子どもからお年寄りまで行き渡らせ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指す
- 超高齢社会に対応した持続可能な仕組みづくりや、熊本地震の教訓を活かした防災・減災への取組み、新しい時代に向けた先進的なまちづくりなどにより、安全・安心で持続的な好循環が可能な都市づくりを推進

★新規 ☆拡充

「暮らし」

～子どもからお年寄りまで、暮らしやすいまち～

- ☆新たな保育ニーズへの対応(当初予算過去最大の2,000人分)
- ★子育て世代包括支援センターの設置(各区保健福祉センターに設置)
- ★不妊専門相談センターの設置
- ★県費負担教職員権限移譲を契機とした充実・強化
～すべての子どもの未来を育むために～
- ①★“全国初”全中学校に不登校対応教員を配置
- ②★“政令市トップレベル”栄養教諭を順次増員(76人⇒108人)
- ☆ふれあい学び舎事業(実施校:35校⇒70校へ拡充)
- ☆東福岡、生の松原特別支援学校の校舎増築(29年秋 供用予定)
- ☆特別支援教育支援員の配置の拡充(170人⇒185人)
- ☆部活動補助指導者の配置の拡充(296人⇒449人)
- ☆福祉バス(バス運賃の助成拡大)
- ★ベンチプロジェクト
- ★地下鉄乗車券「運転免許証返納割」サービス
- ★「親なき後」も含めた障がい者への総合的な支援体制の整備
- ☆障がい者への移動支援(対象者及び利用範囲の拡大)
- ★市営渡船に精神障がい者の割引制度を導入
- ★防災・減災対策の強化
- ①★避難所サポートチーム福岡養成事業
- ②★女性の視点を活かした防災ミニブックの作成
- ③☆避難行動要支援者の避難支援対策

「挑戦」

～経済活動が活発で、挑戦できるまち～

- ★スタートアップ支援施設運営事業(旧大名小学校に開設)
- ☆グローバルスタートアップ推進事業
- ★IoT新サービス創出支援事業
- ☆実証実験フルサポート事業
- ★市街化調整区域の活性化
- ①★能古小・中一貫教育の推進
- ②☆ビジネス創出に向けた地域と事業者のマッチング、情報発信
- ③★志賀島周辺におけるサイクルツーリズムのPR
- ④★志賀島・海の中道エリアでの「福岡トライアスロン大会」開催
- ⑤★今津校区におけるNPOとの共働による定住化の実践
- ⑥☆北崎地区の海づり公園を活用した活性化
- ★ベジフルスタジアムマッチング事業
- ★農業の魅力発信事業
- ★九州5都市連携によるユネスコ無形文化遺産登録の祭り発信イベント
- ★博多部・夜の観光魅力創出「ナイトバザール」の開催
- ★「よかなび」によるイベント情報の見える化
- ★商店街インバウンド対策支援事業
- ★インバウンド向け伝統工芸品開発事業
- ★MICE・観光による地域経済活性化事業
- ★姉妹都市との交流推進(ヤンゴン市・ボルドー市)
- ☆大規模国際スポーツ大会の開催等準備

「都市基盤」

～都市基盤が充実し、次の世代のために歩むまち～

- ☆ウォーターフロントネクスト
(ウォーターフロント地区再整備に向けた事業手法や交通対策の検討、第2期展示場・立体駐車場の事業者公募など)
- ☆九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり
- ☆旧大名小学校跡地のまちづくり(事業者公募の実施)
- ☆天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)の石畳整備
- ☆福岡市科学館整備(平成29年10月 供用予定)
- ・総合体育館整備運営事業(平成30年秋 供用予定)
- ・美術館リニューアル事業(平成31年春 供用予定)
- ☆レベルファイブスタジアムの改修(ラグビーWC2019開催)
- ★博多の森陸上競技場の改修(日本陸上競技選手権大会平成31年開催)
- ☆動植物園再生事業
(エントランス部複合建築物(レストラン等)や地下駐車場の整備)
- ☆福岡都市圏消防共同指令センターの整備
(平成29年末頃 運用予定)
- ☆中央区における消防・救急体制の強化(中央消防署の移転整備)
(平成30年4月 供用予定)
- ★消防ヘリコプター更新整備
- ・五ヶ山ダム建設事業(福岡県施工:平成29年度完成)
- ☆道路空洞調査の強化及び東京大学との共同研究
- ☆下水道施設や水道管路・重要土木構造物の耐震化

II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

○市債残高を着実に縮減

[一般会計] ▲69億円

[全会計※] ▲404億円

※満期一括積立金を除く

○歳入確保, 行政運営の

効率化等による財源の

確保

67億円

III 平成29年度予算の特徴

(増減は平成28年度当初予算比)

○一般会計は

過去最大規模

8,328億円(+483億円)

○県費負担教職員に係る権限移譲

により, 人件費が増加

+652億円

○新たな保育ニーズへの対応など

子育て支援の充実

こども育成費 +34億円

○福岡都市圏消防共同指令センター

の整備など消防・救急体制の充実

消防費

+56億円